

2022年3月期  
第3四半期(4月1日～12月31日)  
連結決算の概要

ロート製薬株式会社  
2022年2月10日

---

# 2022年3月期第3四半期の概況

## □ 概況

- 新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの大幅増収となり、増収効果と原価率の改善及び販管費の効率的活用に努めた結果、売上・各利益段階で過去最高を更新

## □ 国内市場

- 緊急事態宣言の解除により消費マインドが回復傾向に
- 高額目薬、「肌ラボ」、日やけ止めがコロナ前を上回る増収にCOVID抗原検査キットも増収に寄与
- 「メラノCC」「デオコ」「ロートV5粒」など話題の商品は好調持続
- 天藤製薬(株)、(株)日本点眼薬研究所、クオリテックファーマ(株)も売上・利益に貢献
- 大幅な増収と原価率の改善及び販管費の効率的活用により大幅な増益

## □ 海外子会社も大幅増収、米国以外は大幅増益

- 米国が原材料や資材の調達コスト増、人手不足の影響で原価率悪化し減益
- 中国・香港・インドネシアなどは好調。一方ベトナムがコロナの影響により伸び悩む

# 連結損益

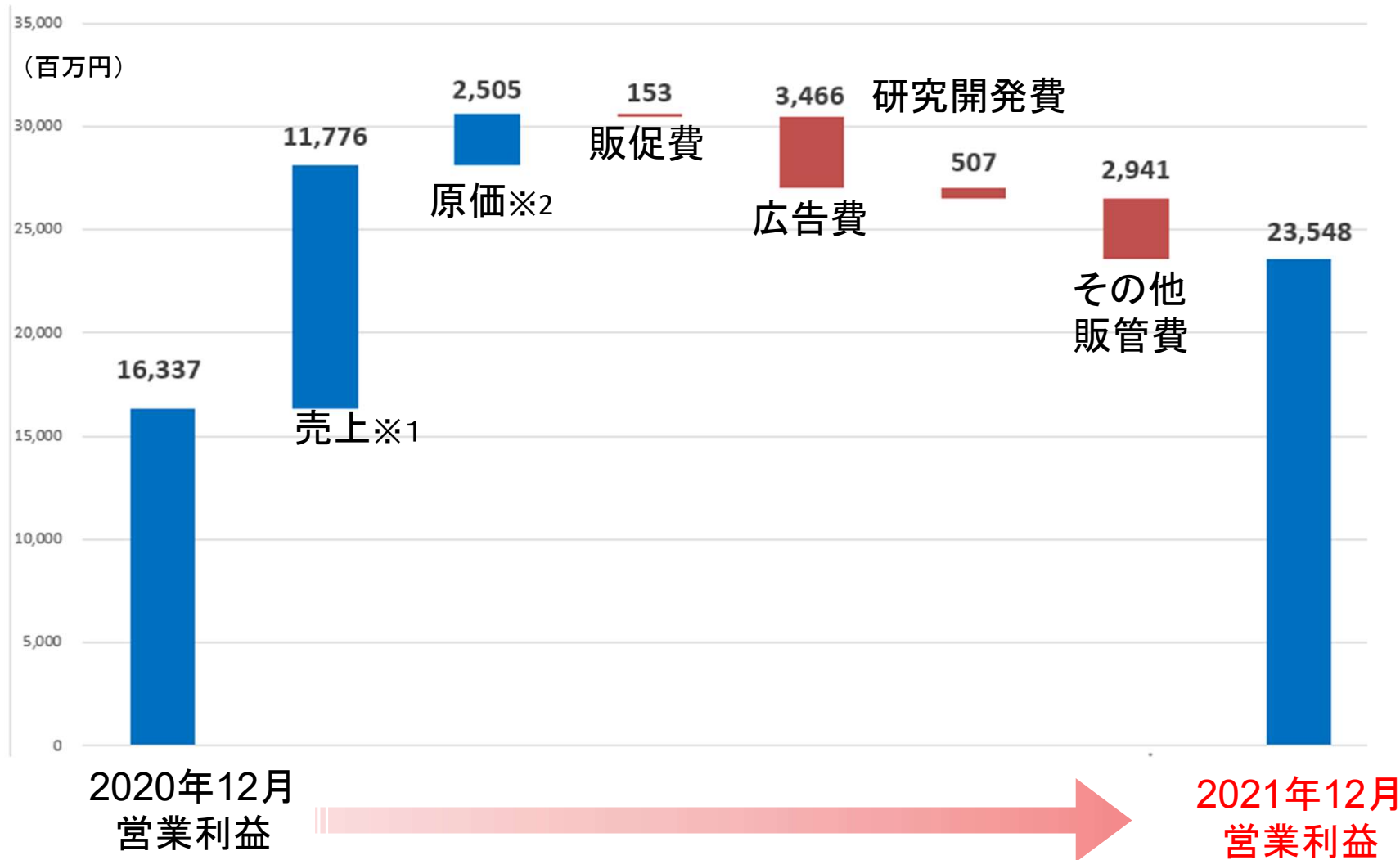
(単位 百万円,%)

	2022年3月期 第3四半期 (新基準)	売上高比	2021年3月期 第3四半期 (新基準)	増減額	増減率
売上高	144,022	100.0	123,214	20,807	16.9
売上原価	60,028		53,501	6,526	12.2
原価率	41.7		43.4		
販管費	60,445	42.0	53,375	7,069	13.3
販促費	8,192	5.7	8,039	153	1.9
広告費	17,055	11.8	13,588	3,466	25.5
研究開発費	6,193	4.3	5,686	507	8.9
その他	29,003	20.1	26,062	2,941	11.3
営業利益	23,548	16.4	16,337	7,211	44.1
経常利益	23,740	16.5	16,700	7,039	42.2
親会社株主に帰属 する当期純利益	16,933	11.8	10,592	6,341	59.9

※前年同期を新基準にした際の比較

※為替レート：USドル=110.52円（前年同期 106.51円）

# 連結営業利益の増減



※1 売上総利益増加に対する売上増の影響額

※2 売上総利益増加に対する原価率改善の影響額

# 報告セグメント別売上

(単位:百万円、未満切捨,%)

		2020年12月期 (旧基準)		2020年12月期 (新基準)		2021年12月期 (新基準)			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高		129,611	100.0	123,214	100.0	144,022	100.0	20,807	16.9
報告セグメント	日本	83,671	64.6	77,274	62.7	88,449	61.4	11,175	14.5
	アジア	32,877	25.4	32,877	26.7	39,553	27.5	6,675	20.3
	アメリカ	5,852	4.5	5,852	4.8	6,751	4.7	899	15.4
	ヨーロッパ	5,942	4.6	5,942	4.8	7,817	5.4	1,874	31.5
	計	128,344		121,947		142,572		20,624	
その他		1,266	1.0	1,266	1.0	1,449	1.0	182	14.4
為替レート (USD/円)		106円51銭		106円51銭		110円52銭			

# 報告セグメント別営業利益

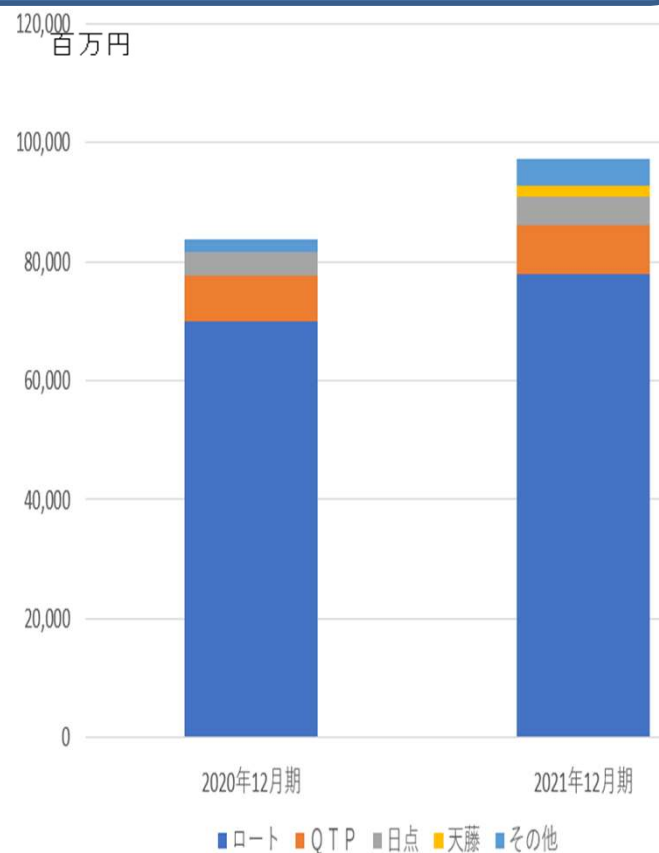
(単位:百万円、未満切捨,%)

		2020年12月期 (旧基準)		2020年12月期 (新基準)		2021年12月期 (新基準)			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
営業利益		16,452	100.0	16,337	100.0	23,548	100.0	7,211	44.1
報告セグメント	日本	9,874	60.0	9,759	59.7	15,253	64.8	5,494	56.3
	アジア	5,612	34.1	5,612	34.4	7,173	30.5	1,560	27.8
	アメリカ	170	1.0	170	1.0	162	0.7	△7	△4.3
	ヨーロッパ	479	2.9	479	2.9	564	2.4	84	17.7
	計	16,137		16,021		23,154		7,132	
その他		64	0.4	64	0.4	121	0.5	57	90.4
調整額		251	1.5	251	1.5	272	1.2	20	
為替レート (USD/円)		106円51銭		106円51銭		110円52銭			

# 日本 大幅な増収増益

売上高	884億49百万円	前年同期比	14.5%増
営業利益	152億53百万円	同	56.3%増

- 全ての製品カテゴリーで増収
- 前期落ち込んだ日やけ止め、「肌ラボ」がコロナ前を上回る増収
- 「メラノCC」「デオコ」「ロートV5粒」など話題の商品が好調維持
- COVID抗原検査キットも増収に寄与
- 天藤製薬(株)、(株)日本点眼薬研究所、クオリテックファーマ(株)など子会社も貢献
- 増収及び原価率の改善と販管費の効率的活用により大幅増益



# 新型コロナウイルスの影響が一巡

## □コロナ前の売上を上回る商品

- 日焼け止め 今期2,582百万円(前々期2,369百万円)
- 肌ラボ 今期9,063百万円(前々期8,619百万円)
- 高額目薬 今期2,856百万円(前々期2,656百万円)



好調な肌ラボ白潤プレミアムと 新型コロナ渦の目の疲れにプレミアムシリーズが好調  
新製品の極潤エイジングケア

## □マスク着用習慣の影響を受けた商品

- リップクリーム 3,244百万円 (対前△14.2%減)



# 好調持続の商品群

## □ SNSで話題

### □ DEOCO



### □ メラノCC



## □ 高額目薬と連動した店頭展開で好調持続する「ロートV5粒」



# トレンドにのったプロモーション

## □鬼滅コラボ目薬が大人気



ロートジー



ロートジー



ロートジー  
コンタクト



ロートジープロ



ロートリセ



ロートリセ  
コンタクト



Vロートジュニア



# インバウンド需要低迷も越境ECが堅調

インバウンド&越境EC売上 約15.8億円 (前年同期比 6.4億円増)



圧倒的人気のマリノCC シリーズ

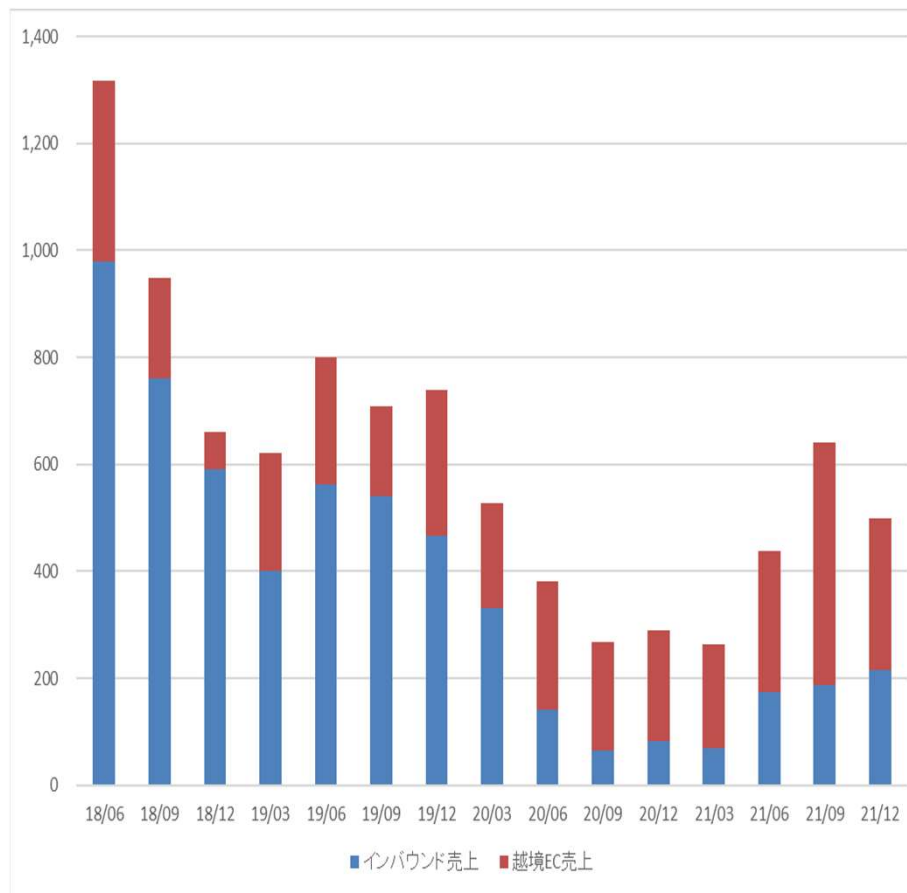


エプステム ステムサイエンスドリンク



目薬やコンタクトレンズ洗浄液も人気

百万円

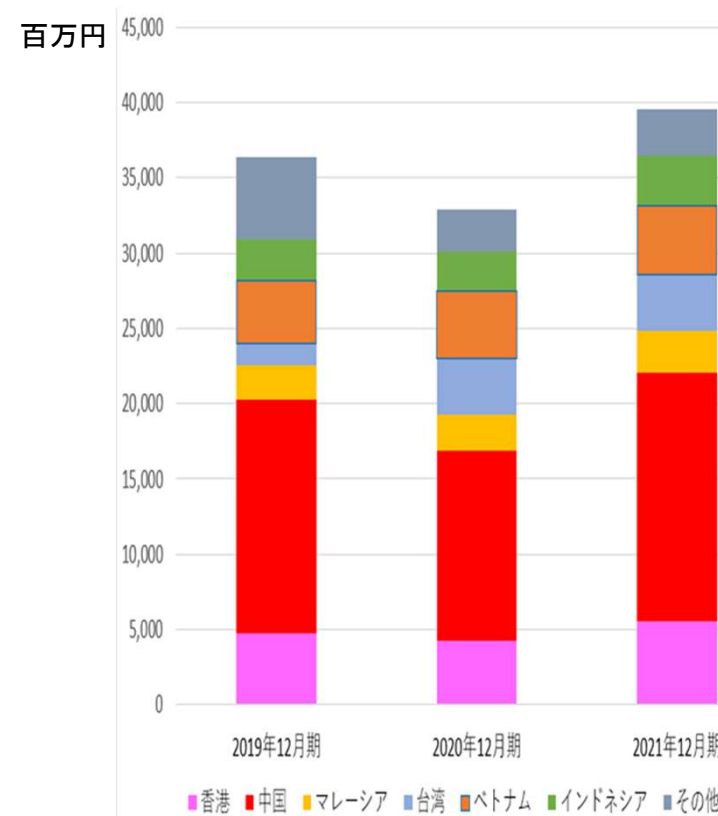


インバウンド関連四半期売上の推移

# アジア 大幅な増収増益

売上高	395億53百万円	前年同期比	20.3%増
営業利益	71億73百万円	同	27.8%増

- 中国・香港・インドネシアが好調
- ロックダウン政策の影響を受け  
ベトナム・台湾が伸び悩む
- 各国の売上 (前年同期比、現地通貨比較)
  - 中国 14.8%増収 12月決算
  - 香港 18.2%増収 2月決算
  - ベトナム 0.5%減収 12月決算
  - インドネシア 25.1%増収 12月決算
  - マレーシア 8.0%増収 2月決算
  - 台湾 8.7%減収 2月決算



# アジア 大幅な増収増益

## □ リップ回復。全主カブランドが好調に推移

- 目薬 7,391百万円 対前15.8%増
- アクネス 4,116百万円 対前19.5%増
- 男性用化粧品 4,187百万円 対前6.8%増
- ハダラボ 5,218百万円 対前5.0%増
- 日やけ止め 4,139百万円 対前12.7%増
- リップ 5,208百万円 対前48.9%増



中国でシングルユース防腐剤フリーの目薬を新発売



肌ラボ ディズニー限定品が好評



リップの新製品 Medicated Potに中国で人気のGEMを起用 街頭3D広告が話題に 店頭でも存在感をだす

# 2022年3月期 通期見通し

- 通期業績予想を売上・各利益全て上方修正
- 大幅増収で売上・各利益段階で過去最高を更新予定
- 日本が大幅な増収増益予定
  - 4Qはオミクロン株流行禍ではあるが消費マインドの回復と新製品の発売に期待
  - マーケティング費用を先行投資の予定
- 海外子会社も大幅増収予定、米国以外は大幅増益予定
  - アジアの4Qはベトナムがロックダウン解除で工場再開。段階的に生産能力を高めるも回復に時間を要する。中国を始め各地域でオミクロン株流行の影響。一方、マーケティング費用は先行投資予定
  - 米国は引き続き原材料や資材の調達コストの増加、輸送費、人件費などコスト増加の見込み
- 1株当たり配当金を前期から8円増配し、年間36円に変更  
18期連続増配予定

# 通期 業績見通し

(単位:百万円、未満切捨、%)

	2021年3月 (新基準)	売上比	2022年3月期 修正予想(新基準)	売上比	増減額 (新基準)	前期比	2022年3月期 前回発表予想 (新基準)	増減率
売上高	172,643	100.0	195,000	100.0	22,357	12.9	190,000	2.6
営業利益	22,973	13.3	28,000	14.4	5,027	21.9	25,000	12.0
経常利益	23,893	13.8	28,000	14.4	4,107	17.2	25,000	12.0
親会社株主に帰属 する当期純利益	16,726	9.7	19,500	10.1	2,774	16.6	18,000	8.3
1株当たり 当期純利益(円)	14,663		170.95		24.32			
為替レート USD/円	105円96銭		112円				112円	

# 報告セグメント別売上予想

(単位:百万円、未満切捨,%)

	2021年3月期 (新基準)		2022年3月期修正予想 (新基準)				2022年3月期前回発表予想 (新基準)		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	増減率	
売上高	172,643	100.0	195,000	100.0	22,356	12.9	190,000	2.6	
報告セグメント	日本	106,985	62.0	120,300	61.7	13,314	12.4	117,700	2.2
	アジア	48,056	27.8	53,100	27.2	5,043	10.5	52,100	1.9
	アメリカ	7,687	4.5	9,600	4.9	1,912	24.9	9,400	2.1
	ヨーロッパ	8,149	4.7	10,000	5.1	1,850	22.7	9,000	11.1
	計	170,877		193,000		22,122		188,200	
その他	1,764	1.0	2,000	1.0	235	13.3	1,800	11.1	
為替レート (USD/円)	105円96銭		112円						

※ 売上高は外部顧客に対するものです



# 報告セグメント別営業利益予想

(単位: 百万円、未満切捨、%)

	2021年3月期 (新基準)		2022年3月期修正予算 (新基準)				2022年3月期前回発表予算 (新基準)		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	増減率	
営業利益	22,973	100.0	28,000	100.0	5,026	21.9	25,000	12.0	
報告セグメント	日本	14,639	63.8	19,200	68.6	4,560	31.1	16,900	13.6
	アジア	6,926	30.1	7,800	27.9	873	12.6	7,100	9.9
	アメリカ	458	2.0	300	1.1	△ 159	△ 34.7	300	0.0
	ヨーロッパ	375	1.6	500	1.8	124	33.1	400	25.0
	計	22,399		27,800		5,400		24,700	
その他	118	0.5	100	0.4	△ 19	△ 16.1	100	0.0	
調整額	455	2.0	100	0.4	△ 356		200		
為替レート (USD/円)	105円96銭		112円						

# 期待の春夏新製品

## サステイナブルな取り組み

- 環境に配慮した処方設計「スキンアクア ネクスタ」
  - 「オクチノキサート」「オキシベンゾン-3」フリー  
高い日焼け止め効果と使い心地の良い日焼け止め
- 目薬業界初！エコ包装の目薬 「ロートCキューブ」

ラベルプラスチック量 50%減  表ラベルレス	紙の使用量 削減  添付文書レス	環境配慮の 紙使用 	 ココロもカラダも 地球も健康に
---	--	--	---

※外箱の内側に  
添付文書の内容を記載

※紙箱にRecoマ  
ーク記載



- CO<sub>2</sub>排出量2030年迄に25%削減を目標(2013年比) リニューアル

# 期待の春夏新製品

## Withコロナ時代のニーズに対応

□ デジタル社会で目の奥の筋肉を駆使する現代人へ  
「Vロートプレミアム® アイ内服錠」



□ マスク着用に伴う目元意識増加でのアイクリーム需要UPに  
「肌ラボ 極潤プレミアム ヒアルロンアイクリーム」



□ お家時間やマスク着用時間の増加でスキンケア意識UP  
「メラノCC® ディープクリア酵素洗顔」



# 新型コロナウイルス抗原迅速検査キット

□ Meiji Seika ファルマ向け(2021年5月～出荷)

⇒3Q売上806百万円

(4Qも引き続き出荷予定)



□ ドゥーテストCOV19(ロート販売): 薬局・行政などへ

□ オミクロン株も検出可能

⇒4Qより出荷開始

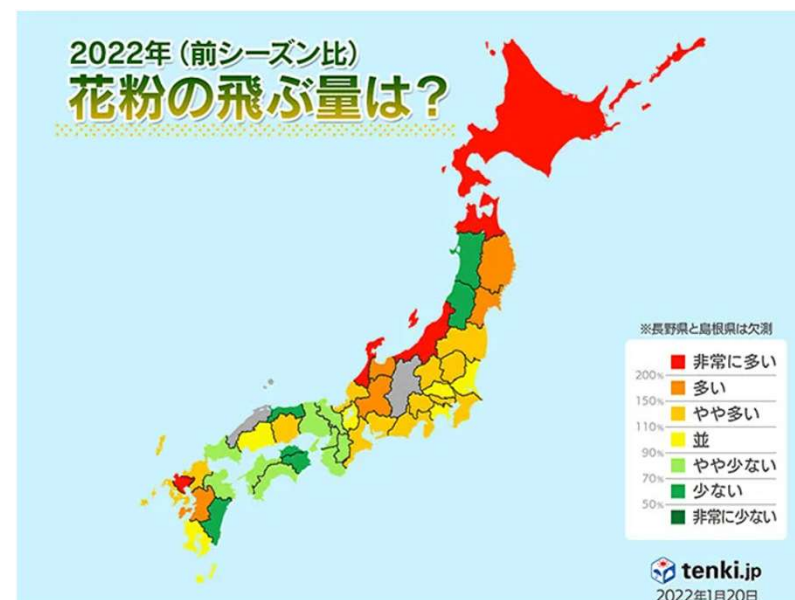
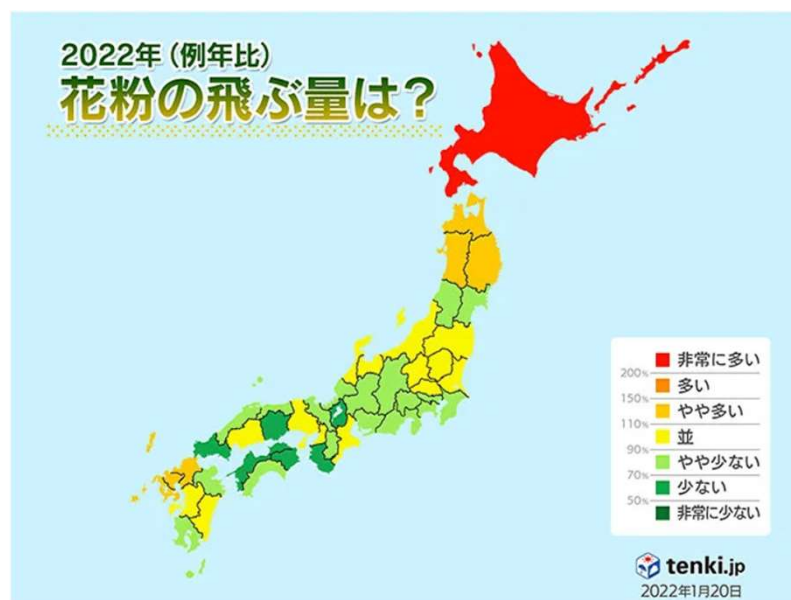


□ 資材調達問題もあるが、現在フル回転での生産で社会に貢献

# 花粉飛散量予想

2022年春の花粉飛散傾向予測は、広い範囲で例年並みか少ない見込み  
 一方、前シーズン比で見ると、東海や北陸、関東甲信、北海道で多くなる予想

コロナによる影響も鑑み4Qの売上は約31億円を予定



日本気象協会20220120

日本気象協会20220120

# 18期連続増配予定

